

スマイル

明生リハビリテーション病院季刊誌 Vol.14



Photo
第4回 K・Gカップ

Contents

- 2P 平成26年1月20日
明生リハビリテーション病院 新年会
- 3P 院内旅行 福岡フリータイム、工場見学ツアー
- 4P K・Gカップ
- 5P 訪問リハビリ りらいふ通信
- 6P 健康コラム
- 7P 医療連携室かわら版 介護百人一首
- 8P 健康教室のお知らせ

2014年 新年会を開催いたしました

平成26年1月20日 明生リハビリテーション病院の新年会を開催いたしました。

参加者は来賓の方々、当院では先生をはじめ、看護部・リハビリテーション科・栄養科・連携室・医事課に参加して頂き盛大な会になりました。

リハビリテーション科の清水係長の司会で始まり、酒井院長のお言葉と乾杯の挨拶、最後には山中副院長の三本締めで終わり、2014年 明生リハビリテーション病院が新たなスタートを切ることができました。

新年会で見せたパワーを日頃の業務でも発揮したいと思っております。

お忙しい中ご参加いただきありがとうございました。



院内旅行 in 福岡(博多~下関)

リハビリテーション科
作業療法士 豊泉 陸

2泊3日で福岡に院内旅行に行かせていただきました。

初めての福岡、福岡といえば・・・太宰府天満宮、ラーメン、もつ鍋、思いつくのは主に「食べ物」でした。(笑)とにかく有名なものを食べて、しっかり観光しよう!と目標をたてて出発!!



1日目は柳川で川下りを体験しました。冷たい風で体が少々冷えましたが、船頭さんの歌に癒されながらゆっくり過ごせた時間でした。この後の柳川のウナギは最高でした!!

2日目は関門海峡を通過して山口県下関へ!! 巖流島で武蔵と小次郎を再現。フグのから揚げを食べ、夜は後輩たちも含め「もつ鍋女子会」を開催しました!



最終日には、「とんこつラーメン」「太宰府天満宮」をしっかり押さえました。天気にも恵まれ、おいしいものを沢山食べ、Activeに観光し、福岡を堪能出来た旅でした!



最終日には、「とんこつラーメン」「太宰府天満宮」をしっかり押さえました。天気にも恵まれ、おいしいものを沢山食べ、Activeに観光し、福岡を堪能出来た旅でした!

11月21日 工場見学ツアー

ケアワーカー 大川 和孝

11月21日 所沢明生病院&明生リハビリテーション病院合同で、工場見学に参加させていただきました。一番始めに向かった所が国会議事堂でした。国会議事堂の中に入るのは初めてなので凄く緊張しました。見学に来られていらっしゃる大勢の人たちにも驚かされました。古き風体にふかふかの絨毯が印象的でした。

次は途中で車窓から皇居を右手に眺めながら、遂にメインのビール工場見学と昼食の焼肉食べ放題です。ジンギスカン、豚トロ、コース、野菜、ライスの食べ放題と美味しい生ビールを堪能できてとても満足でした。工場



見学では、実際に仕込みをしているタンクの上の部分を見せて頂き感動しました。

最後に、試飲の時の缶ビールを美味しく頂くコップなどを見せて貰いました。今回は多くのお土産も付いていて本当に楽しい慰安旅行を体験させて頂き有難うございました。一緒に行ったスタッフ達とも共感出来てとても嬉しかったです。



第4回 K・Gカップ 11/17

リハビリテーション科
理学療法士 宮野 貴幸

平成25年11月17日に第4回K・Gカップソフトボール大会が千葉印西市にて行われました。所沢地区として、明生リハビリテーション病院と所沢病院との混合チームで出場しました。去年は優勝したため、2連覇が掛かるプレッシャーの中、緊張感をもって試合に臨みました。全10チーム、当日は天候にも恵まれ、白熱した試合が繰り広げられました。相手はみどり野リハビリテーション病院、蒲田リハビリテーション病院との対戦となりました。去年は両チームに対し勝利しているため、今年も昨年同様、抜け目のない打線と堅実な守備で勝利する気持ちをもって臨みましたが、試合内容は一転!!バッティングは水物と言われますが、今年の明生打線は沈黙!両試合共に明生は「あと1本」がはず、惜しくも負けてしまいました。

最終結果はみどり野リハビリテーション病院が準優勝、蒲田リハビリテーション病院が優勝となりました。運・実力共になかった結果なのか閉会式では非常に悔しい気持ちで一杯でした。

今年の気持ちを忘れずに、来年はチームワークが売りの明生リハ・明生として優勝を目指していきたいと思います。



訪問リハビリ Report of rehabilitation visits

訪問リハビリテーション
理学療法士 菅原 幸恵

訪問リハビリでは、今までの病棟勤務と異なった立場や考え方が必要であり、未だ慣れないことも多く、困惑しています。しかし、多くの利用者様と関わらせていただき、温かく見守っていただき、とても楽しく充実した日々を送っています。病気と向き合い、生き生きと生活されている利用者様を見てると、私も元気がでます。

これから、利用者様の意に添える治療や関わりができればと思っています。まだまだ未熟者ですが、「明るく元気に」をモットーに頑張ります。よろしくお願い致します。



りらいふ通信 Relife info

絵手紙と書道の活動について

デイケアサービス りらいふ
お問い合わせ 04-2928-7677

「絵手紙」は

はがきに花や野菜など、身近にあるものをかき、絵手紙を送る相手に最も伝えたい気持ちを短い言葉で添えるもので、講師曰く、モットーは、「ヘタでいい・ヘタがいい」、テクニックよりも、自分らしさがはがきの中に出ているかどうかを大切にするといいそうです。ご利用者様はとて和やかな雰囲気の中で談笑しながら取り組まれています。



第2・4の月曜日に実施しております。

「書道」は

子供の頃、授業の一環で習った方も多いでしょう、今も続けてなさっている方も多いかと思います。皆さんが親しんで行う、伝統的なこの活動には、とても多くの効果があるといわれています。書道は最初の一筆が緊張の一瞬です。少しでも気が緩むと、書はあらぬ姿になってしまいます。集中力を高めることで無心になり、心の大半を占めていたストレスがすーっと影を潜めていく、書によるヒーリング効果が期待できます。他には右脳を使って体や感覚で覚える、創造力・感性(美的センス・空間のバランス感覚)を養うのにも良いとされています。



第2・4の水曜日と木曜日に実施しております。

介護保険のサービスとなりますが、ご見学・ご体験随時受付中ですので、お気軽にご連絡下さい。



第7回

山田 達夫の 健康コラム

一般社団法人巨樹の会
関東統括本部長

山田 達夫 (やまだ たつお)

一般社団法人巨樹の会 関東統括本部長
神経内科認定医 認知症専門医
昭和23年生まれ 山梨県出身
昭和49年：東京医科歯科大学医学部卒業
平成 9年：福岡大学医学部神経内科学教室 教授
平成23年：一般社団法人巨樹の会 関東統括本部長に就任

認知症を呈する入院患者の背景疾患の頻度分析—Alzheimer病が最も多く(7-8割)、高頻度に認めるのは整形疾患群にである

認知症を呈する疾患は細かな病名に従って数えると100も200もあります。実際にはそのほとんどがAlzheimer病(AD)であります。日本では脳血管性が一番多いといわれた時代はすでに過去のことです。今回以下のような調査を赤羽リハビリテーション病院職員の皆様のご協力を得て行い、注目すべき結果が得られましたのでご報告いたします。

平成25年10月から12月までに赤羽リハビリテーション病院に入院した患者さんのうちMMSEが23点以下の方を対象に、神経学的診察、心理検査と頭部CT scanを実施し、認知症あるいはMild Cognitive Impairment (MCI)が否かを診断しました。また、その背景疾患の頻度分析を行いました。

MCIとは正常加齢と認知症の中間的認知障害を示し、基本的になんとか自立した生活ができる状態で、Clinical Dementia Rating (CDR) 0.5が適用される方たちです。一方認知症とは多種の認知機能が低下し、人様の世話にならなくなった状態を指します。従って問診や検査で記憶のみの障害の場合はMCIと診断されます(正確には健忘性MCI)。

調査では、新入院患者さんの中からランダムに54名を選択して解析しました。そのうち認知症あるいはMCIと診断された患者数合計は44名(37名が認知症で、7名がMCI)でありました。他の10名は失語症4名、意識障害3名、注意障害2名とうつ病が1名でありました。

認知症と診断されました37名は、整形外科疾患群が14名、脳血管障害群14名と廃用性疾患群が5名でありました。その他は無酸素脳症2名、進行性核上麻痺1名と頭部外傷による認知症1名でありました。

整形、脳血管と廃用疾患33例のうち最も多い背景疾患はADでありました。特に整形外科疾患群では14名中13名がADに罹患していると診断されました。脳血管性認知症(VD)は4例のみで脳血管群のみに認められました。また、いわゆるADとVDの合併と考えられる混合型認知症(MIX)症例は9名(脳血管障害群5名、整形外科疾患群1名と廃用群3名)でありました。従いましてADは整形外科疾患群の14名中の全員、脳血管障害群の14名中10名と廃用群5名中4名であり、合計すると認知症と診断された37名中の28名

(76%)はADということになります。一方、VDはMIXも加えて算出すると、13名ということになります。

その他、廃用群の中にレビー小体型認知症(DLB)に罹患した方が1名認められ、MCIと診断された方は7名で整形疾患群のみに認められました。この7名はADの前状態である可能性が高いという判断をいたしました。

以前の明生リハビリテーション病院のデータでは入院患者さんの約65%が認知症あるいは認知症前状態という解析結果でありました。今回はこのような解析は行っていませんが、ランダムに抽出した認知機能低下入院患者の背景疾患の大部分がADであることがわかりました。また、整形外科疾患群にかなり多くの認知症患者が認められ、その多くがADやMCIであることがわかりました。

ADは進行性の疾患です。回復期リハビリテーション病院への入院によって周辺症状の改善は十分望めます。ただし退院後に介入時間が少なくなれば中核症状の進行性悪化は予防できにくくなるかもしれません。退院後の生活を考えるうえで今回の調査結果を参考に、患者・家族指導を行っていくことをお勧めいたします。

この調査を受けて、2月から「物忘れ外来」を赤羽リハビリテーション病院でもスタートします。地域の認知症対策にも貢献できるよう微力ながら努力いたしますので、ご協力の程よろしくお申し上げます。

表：疾患群別認知症背景疾患とMCI数

疾患群	n	AD	MIX	VD	DLB	MCI
脳血管	14	5	5	4	0	0
整形	21	13	1	0	0	7
廃用	5	1	3	0	1	0
その他	4	0	0	0	0	0
計	44	19	9	4	1	7

AD：アルツハイマー病 DLB：レビー小体型認知症
VD：脳血管性認知症 MCI：軽度認知障害
MIX：混合型認知症 (すべてAD+VD)

地域医療連携室かわら版 Information

9月1日より地域医療連携室に入職いたしました上野香寿です。

医療機関からの患者様の紹介に関するお問い合わせや、ご家族様からの転院のご相談などの業務を行っております。

連携の窓口として患者様に途切れることのないサービスが提供できるよう、支援・調整をさせていただけたらと思っております。

精一杯頑張っておりますので、よろしくお願い致します。

当院の地域医療連携室では、当院で今後治療を希望される方の支援、そして当院での

治療を終えた後、地域でも安心して暮らしていけるように患者様やご家族様と一緒に相談しながら退院支援を行っております。

見学を希望の方は、明生リハビリテーション病院 地域医療連携室 石塚・大江までお電話ください。

TEL 04-2929-2220



介護百人一首 Kaigo hyakuninisshu

「NHK介護百人一首」作品のご応募・お問い合わせ
〒150-8328 東京都渋谷区宇田川町41-1 NHKサービスセンター「NHK介護百人一首係」
TEL 03-34645601(受付時間:平日午前10時から午後6時30分)
インターネットでも応募はじゅんじゅん <http://www.nhk.or.jp/heart-pj/event/>

優しくユーモアたっぷりの夫は、発病以来、頑固じいが現れ、毎日がバトルでした。そして夫は「お前は変わった」とひと言。私は「どっちが?」と思いましたが、でも今は呼びかけても反応がありません。本気でけんかが出来たあの頃が懐かしく、もう一度大きな声で「カアちゃん」と呼んで欲しいです。

二歳児と八十翁が同居する
やんちゃな君と頑固なあなた

70歳で二度目の骨折をした妻は、ショックですっかり落ちこんでしまいました。老人ふたりだけの生活なので大変不安だったようです。術後のことも考え「安静の指示を守るよう説得した時に詠んだ短歌です。

老老の介護は二度目の蜜月か
羞じらいて吾に身をまかす汝

夫(81歳)介護5年の介護が始まって4年9ヶ月。短歌を詠むことで、私自身が癒されるひとことになっております。

寝苦しき夜のねむりの夫の背に
かすかな風をうちわで送る



健康教室のお知らせ

Information

健康教室予定表

開催場所：明生リハビリテーション病院 リハビリ室

3/22(土) テーマ：更衣・口腔ケア
発表者：リハビリテーション科
丸山 聖矢、松本 幸子

4/26(土) テーマ：介護保険とは
発表者：リハビリテーション科
林 寛之、並木 里香子

5/24(土) テーマ：認知症について
発表者：院長 酒井 規光



一般社団法人 巨樹の会

明生リハビリテーション病院

〒359-1106 埼玉県所沢市東狭山ヶ丘 4-2681-2

[西武池袋線] 狭山ヶ丘駅東口下車 徒歩 15分

タクシーをご利用の場合

西武池袋線小手指駅北口より約5分

お問い合わせ

TEL 04-2929-2220

FAX 04-2939-2136

交通のご案内

